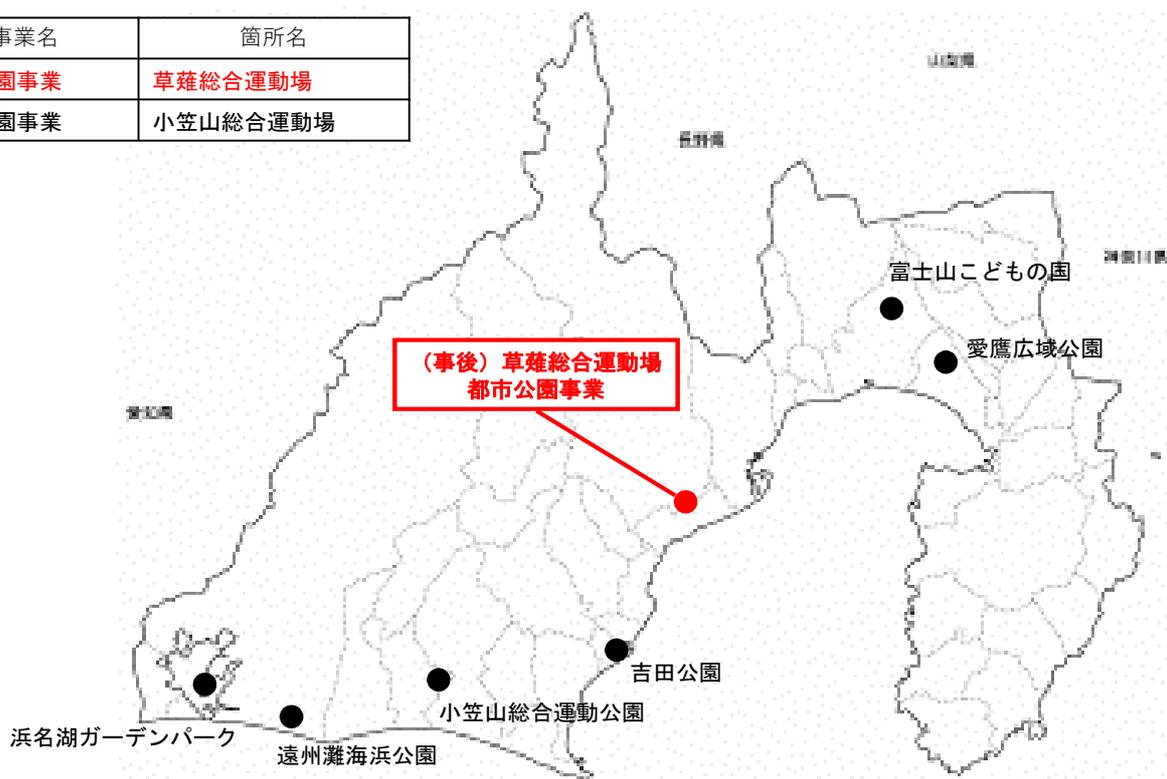


交通基盤部都市局 公園緑地課 事後評価 箇所一覧

【事後評価案件】

事業名	箇所名
都市公園事業	草薙総合運動場
都市公園事業	小笠山総合運動場



事業箇所位置図

草薙総合運動場 都市公園事業 事後評価



交通基盤部 都市局 公園緑地課

事業目的

【草薙総合運動場】

- ・ 県内最初の総合運動場として昭和16年に竣工
- ・ 昭和38年に都市公園として設置

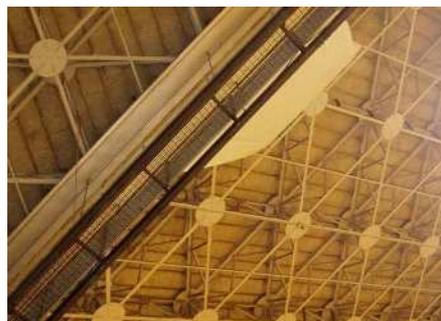
課題

施設の老朽化、公認野球規則不適合、耐震性の不足など

【体育館】
更衣室洗面の老朽化



【体育館】
雨漏りによる利用の中止・中断



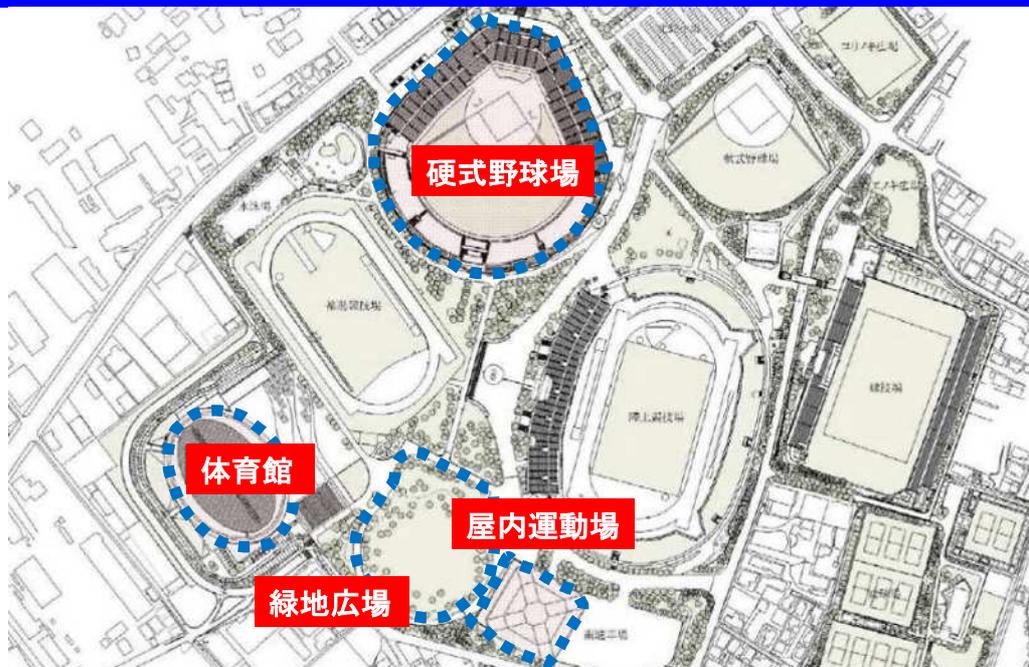
【硬式野球場】公認野球規則
(両翼9.8m以上,中堅12.2m以上)
を満たしていない



目的

静岡県の伝統あるスポーツ拠点にふさわしい水準の運動施設と、都市公園として求められる緑地・オープンスペースを整備する

事業概要



	前回 (H20)	今回 (R4)	主な変更理由
①計画期間	H20~H27	H20~H29 (+2年)	騒音振動等に対する地元調整及び別途工事との調整
②全体事業費	19,035百万円	18,835百万円 (-200百万円)	計画通り実施 ※1%削減

事業概要

【ワークショップの実施】

公園に対する課題や整備方針について広く住民の意見を取りまとめ、設計に反映した

第2回WS実施状況



参加者 : 近隣7自治会(聖一色、栗原、国吉田、池田ほか)、
静岡県立大学学生、静岡学園幼稚園関係者など
会議内容 : 建設位置、施設規模などの整備内容に加え、
排水対策、交通対策など周辺環境についても意見を交わした

事業概要

硬式野球場



公認規則を満たさずグラウンドの拡張



外野スタンドの椅子化



シャワールーム等の改修

屋内運動場



50m×50mの人工芝フィールドの整備

フットサル2面利用、野球、ソフトボールが実施可能

体育館



老朽化(雨漏り)、耐震性不足等により建替え

公式バスケットコート4面を確保

緑地広場



旧体育館跡地を整備(約7000㎡)
いこいの空間や各種スポーツ競技のアップスペースの確保

整備効果

年間利用者数

※当初目標 80万人（費用便益費 B/C=16.8）

年度	年間利用者人数（人）	利用者満足度
H30	1,090,540	4.35
R1	899,931	4.28
R2	563,776	4.30
R3	617,281	4.45

新型コロナウイルスの影響により減少

利用実績

【プロ野球】

年平均試合数：1.62倍

平均観客数：1.15倍

（整備前後10年間の比較）

【体育館】

利用者数：1.74倍

（整備前後5年間の比較）

プロ野球



体育館の利用(写真はVリーグ実施状況)



整備効果

利活用・安全性の向上

イベント



イベント



四阿、ベンチなど休憩施設も完備されているので使いやすい
（一般利用者）

緑地広場（紙芝居）



芝生があることで大きな怪我の心配がない。
（近隣幼稚園）

緑地広場



園庭ではできない活動（土手の法面を駆け降りる）ができる
（近隣保育園）

対応方針（案）

（１）対応方針（案）

効果は発現しており改善措置の必要はない。

（２）今後の課題・対応

年間利用者数、利用者満足度を維持していくために、指定管理者と連携し、引き続き利用促進に努める。

（３）同種事業への反映等

本事業では、公園の整備方針や課題について地元自治会、近隣の大学生や関係者等が参加するワークショップを全５回実施し、住民の意見を設計に反映することで、皆様からより親しまれる公園整備を行った。

今後、他公園の整備・改修計画がある場合は、今回の手法を参考に魅力ある公園づくりを進めていく。